



## センター公開講座と出前講座

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-02-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/10467">https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/10467</a>

## 報告

### センター公開講座と出前講座

平成14年度にセンターは、公開講座と出前講座を各2本ずつ実施した。今年度からセンターの公開講座は、道民カレッジ連携講座となり、修了者には道民カレッジの単位を授与している。なおこれらに加えて、5分校を双方向テレビ会議システムで結んだ新しい試みである「北海道教育大学キャンパスネットワーク講座 ― 北海道の文学」を、平成14年10月に開催している。

#### 1. 生涯学習支援リカレント講座「学びの創造と生涯教育」（公開講座）

##### 1. 講座の趣旨

教育というと、その典型として組織された学校＝「定型」教育が瞬時に浮かんでくる。しかし、教育という人間の営みは、「教育を第一目的にしない活動」の中にも多く見いだされるものであり、実は社会の中に広く「非定型」「不定型」教育として存在しているのである。本公開講座は、そのような生涯学習社会における「学び」が存在する現代社会の構造を明らかにし、「定型」「非定型」をつなぐ「不定型」教育を中核とする生涯教育としての「学びの創造」のあり方を論じ、生涯学習支援に関わる人たちのリカレント教育の場としたい。

2. 主 催 北海道教育大学生涯学習教育研究センター

3. 会 場 北海道教育大学旭川校、教育科学棟2階210a教室

4. 期 間 5/27～7/8 全6回  
(月曜日 5/27, 6/3, 6/10, 6/24, 7/1, 7/8)

5. 時 間 18時～19時30分

6. 対象者 生涯学習支援に関わっている方（自治体職員の方や市民リーダーの方）

7. 募集人員 20人（その他、本学学生も20人ほど参加する予定）

8. 受講料 5,800円

##### 9. 講義内容

- 5/27 第1講 「生涯学習社会における大人の学び」
- 6/3 第2講 「生涯教育の三形態」
- 6/10 第3講 「生涯学習社会の基礎構造」
- 6/24 第4講 「教育を第一目的としない活動」

- 7/1 第5講「地域づくり教育の誕生」  
7/8 第6講「総括 何へ向けての学びか」

10. 講師 内田 和浩（北海道教育大学生涯学習教育研究センター助教授）

## 2. 美術公開講座「地域と美術 — イタリアの都市と歴史」

### 1. 講座の趣旨

昨年度開催した美術土曜講座では、北海道・東北・極東ロシアを主に取り上げて、地域・風土と美術の関わりを見てきた。今年度は北海道周辺地域から一時離れて、長い期間にわたってヨーロッパ美術の中心的役割を担ってきたイタリアの様々な都市を取り上げて、美術と場所・時間との結び付きを考察する。その際、単にイタリア美術史の概説を試みるのではなく、つねに私たちの暮らす土地に立ち返りながら、地域において美術はどういった存在であるのかという視点を持ち続ける。そうすることによってイタリアの事例を検討してゆくことが、北海道の美術やまちづくりを考える上で、多くの示唆を与えてくれると期待されるのである。

また今回は、それぞれの都市の美術に関連するサブ・テーマを設けて、美術史のアカデミックな研究テーマを誰にでもわかりやすく解説することも試みる。

2. 主催 北海道教育大学生涯学習教育研究センター

3. 会場 北海道教育大学旭川校（旭川市北門町9丁目）

4. 日時・各回のテーマ

#### サブ・テーマ

10月23日（水）第1講「ナポリ	神を見る—西洋中世①」
10月30日（水）第2講「アッシジ	死体愛好、聖なる遺物—西洋中世②」
11月13日（水）第3講「フィレンツェ	文字装飾にみる東西交流」
11月20日（水）第4講「シエナ	宣教と殉教—征服？服従？」
11月27日（水）第5講「ローマ	もう一つの現実—1910年代の絵画」

\* 各回とも14時40分から16時10分まで。

5. 講師 谷古宇 尚（北海道教育大学生涯学習教育研究センター助教授）

6. 対象者 市民一般、美術を視野に入れた町づくりに関わる人

7. 受講料 5,800円

### 3. 函館出前講座「極東ロシアとサハリンの美術の現在」

#### 1. 趣 旨

大学開放事業等による生涯学習機会の提供を基本的事業活動の一つとする当センターは、設置以来キャンパス外の各地で「出前講座」を開催してきた。今回の講座は、教員の調査・研究活動の成果を学外で紹介するものとしても位置付けられる。

北海道立函館美術館では7月16日から9月1日まで「極東ロシアのモダニズム1918－1928ロシア・アヴァンギャルドと出会った日本」展が開催される。これは同地域を対象とした国内初の本格的な展覧会である。この機会に、昨年度ロシア極東とサハリンにおける美術活動の現状を調査したセンター専任教員による講座を開催することは、とりわけ北海道・函館と関係の深いロシアの文化を、身近に幅広く理解するために有意義であると考えられる。

2. 主 催 北海道教育大学生涯学習教育研究センター

3. 後 援 北海道立函館美術館

4. 日 時 平成14年8月18日（日）午後2時～3時30分

5. 会 場 北海道立函館美術館講堂

6. 対 象 一般市民

7. テーマ 「極東ロシアとサハリンの美術の現在」

8. 講 師 谷古宇 尚（生涯学習教育研究センター助教授）

9. 参加料 無料

〔この講座に関しては、『北海道教育大学生涯学習教育研究センターニュース』  
No.5 に記事がある。〕

### 4. 幌延出前講座「美術に映し出される風土 — サハリンの作家たち」

#### 1. 目 的

本講座は、大学開放事業等による生涯学習機会の提供を基本的事業活動の一つとする当センターの趣旨に基づいて開催される。また、地域に根ざした生涯学習活動を支援する各地の教育委員会等諸機関との連携を推進しようとするものである。なお今回の講座は、幌延町教育研究所研究発表大会開催時に特別講座として開催される。

2. 主 催 北海道教育大学生涯学習教育研究センター  
幌延町教育委員会
3. 後 援 幌延町教育研究所
4. 日 時 平成15年2月13日（木）午後2時～3時
5. 会 場 幌延町立門寒別小中学校音楽室
6. 対 象 町内の教職員，一般町民
7. テーマ 「美術に映し出される風土 — サハリンの作家たち」
8. 講 師 谷古宇 尚（生涯学習教育研究センター助教授）
9. 参加料 無料

## 5. 「北海道教育大学キャンパスネットワーク講座 — 北海道の文学」

### 1. 趣 旨

双方向テレビ会議システムを利用して、北海道教育大学の5つのキャンパスを結び、生涯学習教育研究センターの5分室が連携して北海道民全体への生涯学習支援を行う。平成14年度は「北海道の文学」と題した連続講座とする。

2. 主 催 北海道教育大学生涯学習教育研究センター  
後 援 北海道教育大学札幌校・函館校・旭川校・釧路校・岩見沢校
3. 会 場 北海道教育大学札幌校(第1会議室)  
" 函館校(大会議室)  
" 旭川校(会議室)  
" 釧路校(大会議室)  
" 岩見沢校(大会議室)

※ただし、札幌校は10月12日(土)のみ教育実践総合センターで開催

4. 期 間 等 平成14年10月12日(土)、10月19日(土)、10月26日(土)

5. 時 間 ①13時00分～14時30分  
②14時40分～16時10分

6. 講義内容

- 10/12 第1講 ①『『北海道の文学』概説』講師・片山晴夫教授(旭川校)  
10/12 第2講 ②「釧路時代の石川啄木」講師・石井由紀夫教授(釧路校)  
10/19 第3講 ①「埋もれた作家中村武羅夫—その評論と小説」  
講師・大塚達也教授(岩見沢校)  
10/19 第4講 ②「素木しづの文学」講師・西原千尋助教授(札幌校)  
10/26 第5講 ①「函館発のモダニズム文学」講師・小林真二助教授(函館校)  
10/26 第6講 ②「三浦綾子の文学」講師・片山晴夫教授(旭川校)

7. 対象者 「北海道の文学」に興味のある市民の方

8. 募集人員 各分校50～100人(各分校ごとの会場定員による)

9. 受講料 無 料

10. 道民カレッジ連携講座

本講座は、道民カレッジ連携講座となっており、修了者(3日とも出席)には道民カレッジ9単位を授与する。

[この講座に関しては、『北海道教育大学生涯学習教育研究センターニュース』  
No.5 に記事がある。]